

浅井町 ふれあいたより



1月号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」 発行日 令和3年1月1日
発行者 浅井町地域づくり協議会 一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)
ホームページ 138azai.org(検索「浅井町地域づくり」)

絵本 ぼくはレモネードやさん 一宮市立浅井中小学校 校長 図師 泰洋

皆さん、栄島四郎さんをご存知でしょうか。昨年の夏、2019年の8月30日に出版された「絵本 ぼくはレモネードやさん」の作者です。(当時横浜市の小学校6年生)



私が栄島さんを知ったのは、栄島さんが「小児がんの存在をいろいろな人に知ってほしい」と小学校4年生の時に発案して、制作された「絵本 しろさんのレモネードやさん」を紹介する新聞記事でした。

栄島さんは3歳の頃に小児がんと診断され、脳の腫瘍を取り除くために、15時間にもおよぶ摘出手術をしました。その後も半年間の放射線治療、化学療法を行って、5歳でやっと退院することができました。

その後は、自宅でホルモン注射を打つなどの治療をしながら、元気に学校へ通っています。

また、その栄島さんですが、小児がんになったアメリカの少女アレックスさんの活動を参考にして、小学校3年生のときに「レモネードスタンド」を始めました。駅前や広場で1杯100円のレモネードを売り始めたのです。その理由は、レモネードを売って、たくさんの募金を集め、小児がんを治す薬や治療法に役立てるためでした。

現在は、「みんなのレモネードの会」を家族と立ち上げ、会長を務めています。この会は、小児がんについて知ってもらう活動や、小児がんの支援のためのレモネードスタンド、患者や家族の交流会などを開催しています。(右写真)



絵本をめくっていくと、明るく鮮やかな色彩の絵が、何枚も目に飛び込んできます。絵から暗い印象を受けることはありません。ただし、文章には暗い内容も含まれています。自分自身のつらい体験、友達が治療や副作用で苦しんでいること、友達がお空にいったことなどです。でも、最後には、レモネードスタンドでがんばっていかうとしている栄島さんの強い気持ちが伝わってきます。思わず自分自身が栄島さんにエールを送っていることに気づかされます。絵本の表紙には、「3歳のころ小児がんになりました。ぼくの目標は300歳まで生きること」とあります。

この季節に、温かいレモネードを飲みながら「ぼくはレモネードやさん」「しろさんのレモネードやさん」を読んでみてください。体が温まり、心が勇気づけられると思います。

最後になりましたが、どうぞ皆さん、よいお年をお迎えください。そして、令和3年もよろしくお祈りします。

新年のごあいさつ

浅井町地域づくり協議会 会長 栗本 和徳

新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナ感染拡大に始まり、感染防止に明け暮れた1年であり、連区のほとんどの事業が中止に追い込まれ、皆様方には多大なるご心配ご迷惑をおかけしました。事業中止はとても心苦しく、残念でもありました。

そんな1年ではありましたが、昨年4月に「浅井防犯パトロール隊」が正式発足し、16名のボランティアと地域づくり協議会各部会員が協力し合って、浅井町が安全で安心な町になるよう、また子どもたちが明るく健やかに成長するよう、町内パトロールを始めました。現在その**ボランティアを追加募集**しております。皆様方のご応募を心からお待ちしております。

年が変わることによって、昨年の巣ごもりという暗い、後ろ向きな毎日が、少しでも明るく、希望が見える新年になることを願うとともに、浅井町に住んで良かったと言える町になるよう私自身も微力ではありますが、精一杯、頑張りたいと思っております。これからも浅井町地域づくり協議会に皆様方のご理解とご協力を宜しくお願いし、新年のごあいさつとします。

クリスマスグッズ作り

11月28日(土)児童館で「クリスマスグッズ作り」がありました。午前10時と11時の2回、各50分間、10名ずつの定員で行われました。今年のクリスマスに向けて、何が作りたいか子ども達に聞いたところ、「サンタブーツを作りたい」という声が多かったため、先生方と子ども達が相談をして企画を進めました。材料は、牛乳パック・折り紙・色を塗ったドングリやビーズ・スパンコール・フェルト地など身近なものばかりでした。



先生が一つ一つの作業を丁寧に教えて進めていました。また、制作をしていく中での注意点も細かく説明をして、それを子ども達はきちんと聞いて作っていました。最後に児童館の先生からかわいいどんぐりの置物のプレゼントをもらい、みんな完成したサンタブーツに入れて出来上がりです。子ども達にとっては待ちに待った季節です。サンタブーツとともに気分も一気に盛り上がり、クリスマスが待ち遠しい様子でした。

西浅井町内「見守り隊」の活動



11月26日(木)西浅井見守り隊のメンバーは、一斉下校のこの日、学校から子どもたちと一緒に下校し、途中の分かれ道からは別のメンバーも参加し、それぞれに子どもたちを見守りながら帰宅しました。町内では比較的交通量の少ない道を歩いていますが、県道と西部幹線は注意して歩いています。

西浅井では見守り隊員が不足しているので「只今、募集中」です。ぜひ、お時間のある方は子どもたちの安全・安心な登下校のためにご協力をお願いします。

浅井町の文化財・史跡紹介(6)「黒岩祇園祭」

黒岩祇園祭は石刀神社周辺で行われる祭礼です。祭りは、洪水・疫病除け、治水工事の犠牲者慰霊(宝暦治水)の為に始まったと伝えられています。山車の構造は2層で高さ15mの船形ですが、一木4輪の外輪で神社周辺を曳き回します。提灯総数は550個で、和蝋燭と和紙を使用し古き伝統を守っています。又、お囃子も地元の子もたちに受け継がれ、大太鼓・小太鼓・獅子笛で「道行き」、「山車」などの9曲を奏でます。祭りは例年8月の第一土曜日に行われますので、是非、夜空に揺らめく幻想的な灯りをご覧ください。

